



よいお年を！

12月に入って急に寒くなりましたが、東児中では感染症による学年閉鎖をすることもなく、終業式を迎えることができました。2学期も多くの行事があり、それらを通してどんどん生徒は成長していきました。ぜひ新年を迎える冬休みには、自分は何が得意なのか、何ができるようになりたいか、どのような貢献ができる人になりたいかを、家族で話をしてみたいか、どのような貢献ができるか。

11/29 芸術鑑賞会

落語家の三遊亭兼好師匠、江戸太神楽（曲芸）の花仙さんをお招きし、全校で日本文化に触れました。兼好師匠は落語のいろはを教えてくださいました。花仙さんの傘を使った曲芸なども息をのむものばかりでした。



12/19 球技会

5・6校時に全校球技会を行いました。サッカーとバドミントンに分かれて競技した後、学年対抗ドッジボール大会でした。声をかけ合いながら、真剣に、そして楽しそうな姿が印象的でした。体育委員のみなさん、がんばりましたね。



2学期の人権学習について



2学期にかけ、各学年人権について考える様々な学習がありました。人権を守るためには、まず正しい知識を身に付ける必要があります。そして、自分や他者を大切にしようと思う気持ち、そしてどのようにして人権を守っていくかを学ぶ必要があります。12月13日に行った人権集会『人権の輪』が2学期人権学習のまとめとなりましたが、これからも継続的に学習して行く予定です。

11/7 福祉体験学習（1年生）

玉野総合医療専門学校にて作業療法、保健看護（感染対策）、理学療法（リハビリ機器体験）を学びました。小学校でも車いす体験等はしていますが、専門的な施設でより詳しく教えていただくことで、誰もが生活しやすい環境を整える必要性について学ぶことができました。



11/8 認知症サポーター養成講座（1年生）

玉野市社会福祉協議会の方を講師に、認知症についての理解を深め、自分たちの心構えを学びました。レジで待っている時に会ったら、焦らずゆったりと待つ等、実演を交えて教えていただきました。先日も独居高齢者の方に全校でお手紙を書きましたが、相手の思いやる気持ちをもつことが大切だと気づくことができました。



11/6多様な性について（3年生）

青少年健全育成に向けた講師派遣事業の一環で、ももにじ岡山代表の市川明美さんに来ていただき、授業を行いました。自身の経験も交えながら、多様な性のあり方についてお話していただきました。「差別など、人の普通をバカにしないようにすることが大切だとわかった。普通とは、その人それぞれの特別だと思った」という感想がありました。市川さんは、『ありのままの自分がいい』と言われました。思春期はそうでなくても「自分ってこれでいいのか」と悩む時期です。誰一人として同じ人はいない、ということを含め、考える必要があると感じました。

11/27 人権学習公開授業（2年生）

岡山県人権学習充実拠点校事業の一環で、公開授業を行いました。玉野市の先生方を中心に約40名の先生方に2年生の道徳授業を見ていただきました。様々なことを考えるとき、人は「脳内会議」を行い、様々な視点から考え行動を決めていきます。2年生は「自分だったらどうするか」と真剣に考えていました（1・3年生も同じ授業を行っています）。また、胸上小学校、鉾立小学校の先生方にも成長した姿を見ていただくことができました。



12月13日の人権学習

人権講演会

演題『私が介助犬を選んだ理由～そして伝えたいこと～』

講師：渋川ユニバーサルビーチプロジェクト代表 藤原 智貴さん
介助犬ダイキチくん



事故により車いすでの生活となった藤原さん。現在パラサーファーとして世界中で大会に参加されています。介助犬のダイキチくんがずっとそばにいました。介助犬はまだまだ頭数が少ないけれど、介助犬と生活することで、できなかったことができるようになったり、早くできるようになったりする、出かける不安がなくなる、1人でないことへの安心感があると教えてくださいました。

生徒の感想を紹介します。

- 日本とアメリカで障害者の方に対する対応の違いがあることに驚いた。外国人のように躊躇なく声をかけられるようになりたい。
- 介助犬についてよく知ることができた。障害をもっても自分の夢に向かっていてすごい。
- 人は色々な人や動物や物に支えられて生きていると感じた。
- 補助犬には種類があること、介助犬は手伝いだけではなく、介助犬がいるだけで毎日が楽しいことがわかった。

人権の輪

生徒会主催で人権集会『人権の輪』が行われました。委員会の取組の発表もありました。美化委員会は12月4日に「ピカピカ大作戦」としてボランティアを募り、校内清掃に多くの人々が参加していました。また、人権について考えるため、執行部が「休み時間に1人でいるのはよくないこと？」など、3つの場面を演じて動画にし、全校で考えました。その後、各自の人権宣言を書きました。生徒玄関に「東児中桜」となって掲示しています。



2024年が終わろうとしています。今年は元旦の能登半島地震から始まりました。つらいスタートとなりましたが、パリオリンピック・パラリンピックでの活躍はうれしいニュースでした。今年度当初より「人権について考えよう」と呼びかけてきました。10月に行った人権講演会で高橋聡美先生が、「人は失敗したり、心が折れたりすることがある。その時に立ち上がる力をもっていたい。そのために力になってくれるものや人をたくさんもとう。SOSを出そう。」と言われました。先日お話をくださったパラサーファーの藤原さんは事故で車いすでの生活となりました。心が折れないわけはありません。そんな時にレジリエンス（困難な時に回復を促す力）となったのは、家族、サーフィン、仲間、ダイキチくんなどがあったのだらうと想像します。そして、藤原さん自身が多くの方のレジリエンスとなっています。人は大変な状況に置かれたり挑んだりするときに悩みます。東児中の教員、生徒が誰かのレジリエンスになれるように、保護者の方々と一緒に学びを続けていきたいと思います。

今年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

校長 大山 都

